

社会や、地域の課題解決につなげていくための市民交流事業「えんがわフェスタ」を昨年11月16日(日)に開催しました。今年は、地域で求められている居場所や必要な関りについて、市民の方と一緒に考えるため、市内にある子育てに関わる居場所、青少年に関わる居場所、多世代に関わる居場所を、3つのグループに分かれてまわる居場所見学ツアーを実施しました。

見学をさせていただいた施設と、その振り返りをご報告します。



子育てに関わる居場所



こくりょう子ども食堂わいわい



子ども食堂かくしょうじ

1 こくりょう子ども食堂わいわい 10:00~11:00

国領地域の子どものために、地域の皆さんと一緒に運営している子ども食堂です。この日は、クリスマスフードパントリーの打ち合わせの様子を見学させていただきました。

2 FUJIMI LOUNGE 13:00~14:00

お洒落で落ち着いた雰囲気の中で、美味しいキーマカレーを食べながら、調布市のまちづくりプロデューサーがオープンした地域の人と文化をつなぐ「まちのリビング+カフェ」というコンセプトを体験しました。

3 子ども食堂かくしょうじ 14:00~15:00

名前の通りお寺を開放して運営している子ども食堂です。住職の細川さんより、食堂を始めたきっかけや、これまでの様々な取り組みについてお話をお聞きしました。多い時には100人を越える人が集います。地域の関係機関とも連携が深く、必要に応じて支援につながりもあります。

青少年に関わる居場所

4 青少年ステーションCAPS 10:00~11:30

CAPSは「家」でも「学校」でもない、中・高校生世代が「安心安全」に「過ごすことができる第三の居場所施設です。今回は、普段は大人が入れない場所を特別に見学させていただきました。

5 ほんのもり 14:00~15:00

早稲田大学在学中に知り合った友人3人で作った、緑ヶ丘団地内の図書館のような場所「ほんのもり」は、2018年10月にオープン。昼間は使い方自由なフリースペースで、夕方からは学習塾に。地域に開かれた、自由な居場所を見学させていただきました。



青少年ステーションCAPS



ほんのもり

多世代に関わる居場所

6 POSTO 10:00~11:00

仙川駅近く、郵便局の向かい側にオープンした、多世代が交流するコミュニティ・カフェ(スペース)。地域の人たちが集い、新たな取り組みが続々と生まれています。代表の田中さんにお話を伺いました。

7 1000+1 BOOKS(セイチブックス) 12:00~13:00

100個の本棚1つ1つが小さな本屋さん。そこには棚主さんそれぞれの個性があふれています。大型書店や図書館とは違った本の世界を見学させていただきました。

8 しばさき彩ステーション ※センター運営委員による紹介のみ

地域住民が主体となり、地域課題に気づき、人と人が繋がるまちづくり活動を行っています。



POSTO